

CASBEE 広島 2016年版
広島駅南口ビル新築他工事

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									3.4
Q1 室内環境						0.38		-	3.2
1 音環境					2.4	0.15	4.0	1.00	2.5
1.1 室内騒音レベル		N-30			3.0	0.40	5.0	0.40	
1.2 遮音					2.6	0.40	4.7	0.40	
1 開口部遮音性能		開口部遮音性能T-2以上			3.0	0.84	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		D-50			1.0	0.16	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		LL-40				-	5.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		LH-45				-	5.0	0.20	
1.3 吸音					1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境					3.3	0.35	3.0	1.00	3.3
2.1 室温制御					3.7	0.50	3.0	0.50	
1 室温					3.0	0.44	3.0	0.57	
2 外皮性能					3.0	0.21	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		空調システムの細分化、ゾーン別に冷暖切替可能			5.0	0.35		-	
2.2 湿度制御					3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式					3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境					2.7	0.25	3.6	1.00	2.7
3.1 昼光利用					2.4	0.50	4.2	0.30	
1 昼光率		各階居室T-1-5.00%			1.0	0.28	5.0	0.60	
2 方位別開口						-		-	
3 昼光利用設備					3.0	0.72	3.0	0.40	
3.2 グレア対策					3.0	0.11	3.0	0.30	
1 昼光制御					3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		調光スイッチによる使い分けが可能			3.0	0.07	5.0	0.15	
3.4 照明制御					3.0	0.31	3.0	0.25	
4 空気質環境					3.8	0.25	3.6	1.00	3.8
4.1 発生源対策					4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		内装仕上にはF☆☆☆☆品を採用する			4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気					3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					4.5	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		中央監視設備データを基にした、CO ₂ 換算計測を行っている			4.0	0.41		-	
2 喫煙の制御		全館禁煙としている			5.0	0.59		-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.8
1 機能性					3.8	0.40	4.0	1.00	3.8
1.1 機能性・使いやすさ					4.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性					-	-	3.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応		Cat6対応ケーブルの採用			-	-	5.0	0.50	
3 バリアフリー計画		建築物移動等円滑化誘導基準を満たす			4.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性					4.0	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観					3.0	0.28	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					3.0	0.18		-	
3 内装計画		建物全体のコンセプト、建物機能の明確化、インテリアパースの作			5.0	0.54	5.0	0.50	
1.3 維持管理					3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材の採用			4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性					4.0	0.30		-	4.0
2.1 耐震・免震・制震・制振					4.6	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		建築基準法の50%増の耐震性を有する			5.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能					3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管、排水管、通気管:B以上			4.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20		-	
2.4 信頼性					4.2	0.20		-	
1 空調・換気設備		熱源種の分散			5.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		節水型便器の採用			5.0	0.20		-	
3 電気設備		発電機設備、蓄電池設備設置			4.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		光ケーブル、蓄電池設備設置			4.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.6	0.30	2.3	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり			4.5	0.25	1.6	0.50	
1 階高のゆとり	1階～8階階高3.90m以上		5.0	0.54	2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.11		4.0	0.46	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.25	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.6	0.51		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性	主要設備の更新ルートを確保		5.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保	配管展開スペース、機器更新通路利用		4.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.32	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	美観形成基準を満たす、植栽の設置		4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	大屋根等の構造物は、折鶴をイメージした「祈り」のデザイン、平和を象徴する「白系」の色彩を取り入れている		5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPIm=0.86		4.4	0.20	-	-	4.4
2 自然エネルギー利用	交通広場上部にアトリウム設置		4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]: 0.99		2.0	0.50	-	-	2.0
4 効率的運用			5.0	0.20	-	-	5.0
集合住宅以外の評価			5.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	中央監視設備採用		5.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	BEMS採用		5.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水	自動水栓に加え、節水型便器の採用		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用水槽の設置		4.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.60	-	-	4.0
2.1 材料使用量の削減	冷間成形角型鋼管におけるBCP使用		4.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	既存躯体の利用		5.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	タイル(床材)、ビニル床材(床材)、押出法ポリスチレンフォーム(断熱材)		5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロアの採用		4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用	防水工事のAsプライマー採用		4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出率=96%		3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	指導要綱に基づく、雨水流出量の抑制を実施		4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	条例基準を満たす駐輪場、駐車場設置		5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	ゴミの正しい出し方表示設置		4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの一部を満たす、配慮事項の過半を満たす		4.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	